

安心して暮らしつづけることができる 「福祉のまちづくり」



地域福祉活動計画とは……………

市民が地域で安心して暮らしていくためには、ひとつひとつの福祉課題の解決に向け、市社協と市民が一緒になって取り組む姿勢が求められています。今回の第3次地域福祉活動計画は、市民のみなさんが毎日の生活の中で感じている不安や困りごとの解決に向けて、市社協、市民、行政、社会福祉関係機関がそれぞれの役割を担い、協働し、地域福祉を推進する行動を取るための計画です。

基本目標

基本理念を実現するために、3つの基本目標と8つの取り組み目標を定め、市社協、市民、行政、社会福祉関係機関が一緒に考え、行動していきます。

基本目標1 情報の「しくみ」をつくる

福祉活動をより充実させていくために、さまざまな情報をみんなが共有しながら、上手に活用できる「しくみ」づくりに取り組みます。

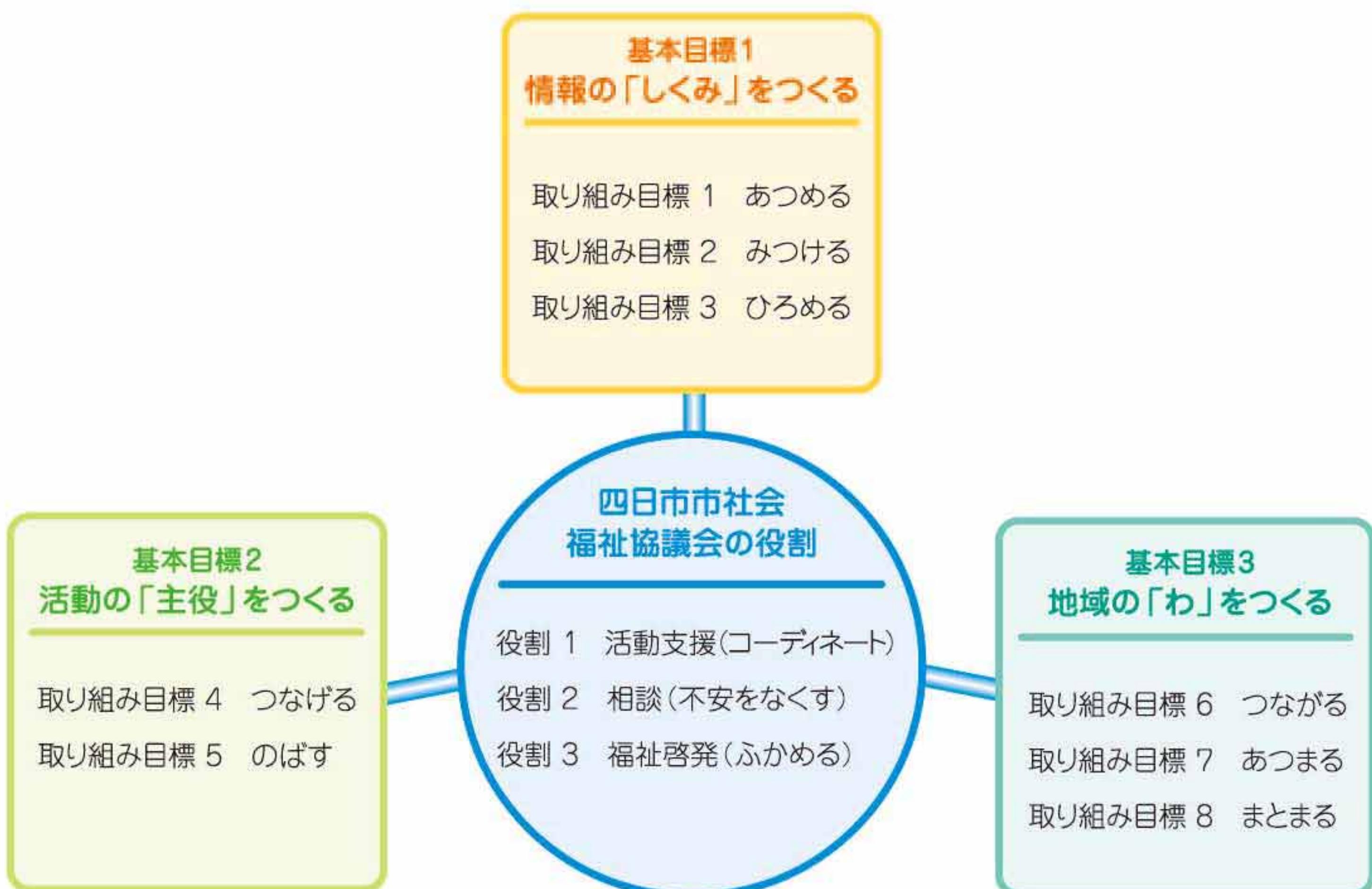
基本目標2 活動の「主役」をつくる

今活動している人も、今活動していない人も、みんな「主役」になれるように取り組みます。

基本目標3 地域の「わ」をつくる

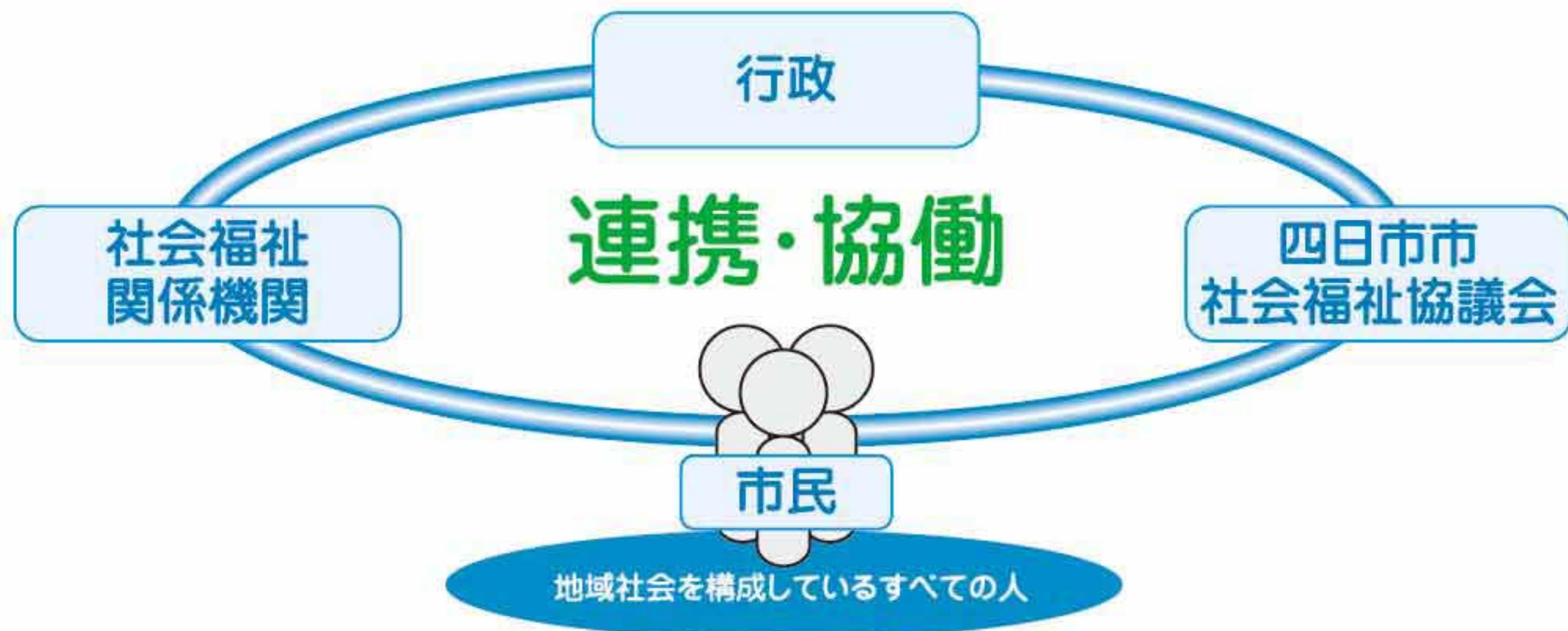
一人では解決できないことも、みんなが知恵を出し合い行動し、解決するために一緒になって取り組みます。市社協もこうした「わ」の一員として、つながりづくりに取り組みます。

四日市市社会福祉協議会の役割と基本目標の関係



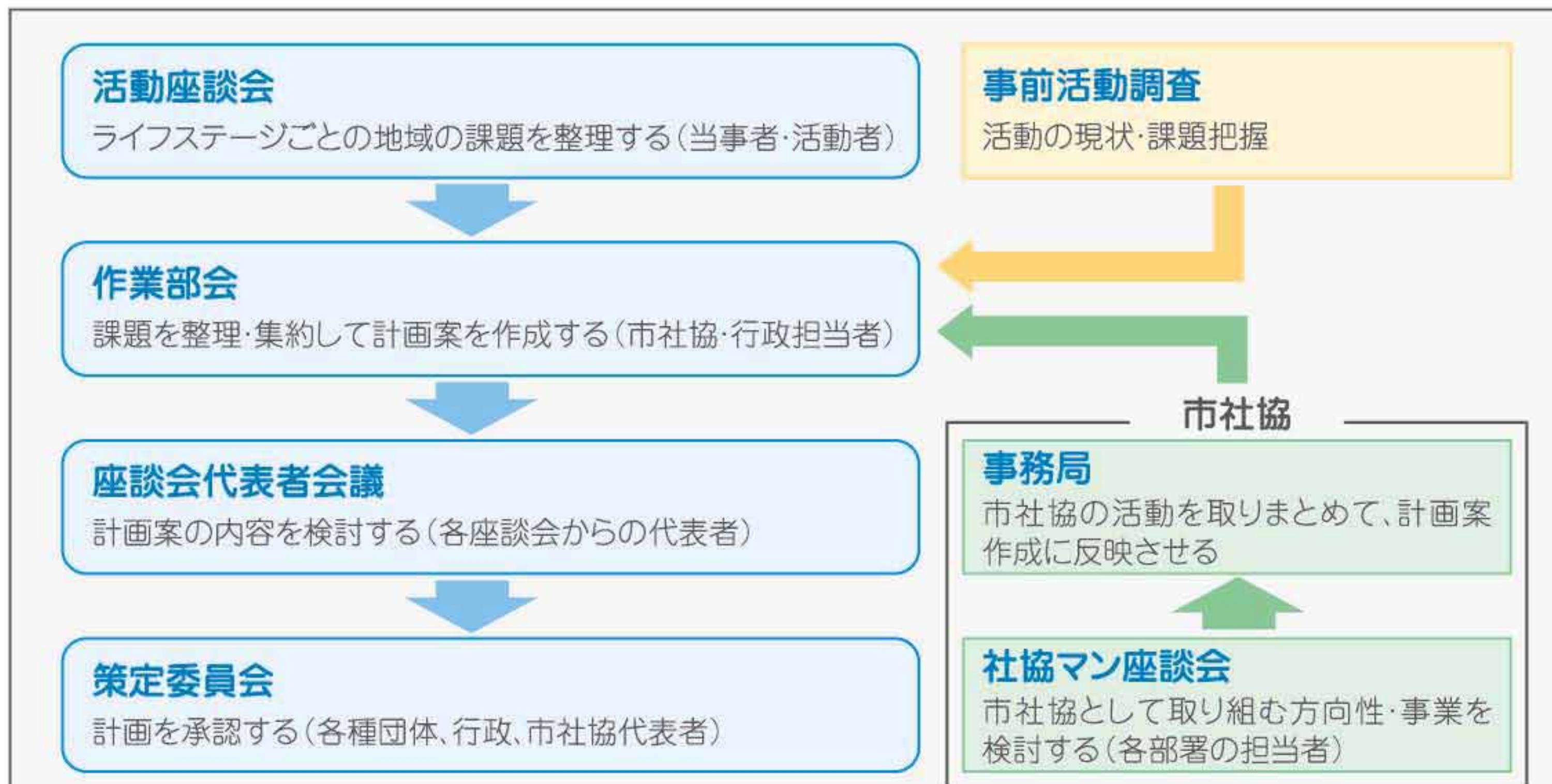
安心して暮らしつづけることができる 「福祉のまちづくり」

毎日の生活のなかで感じている不安や困りごとを、市民一人ひとりが共通の問題として考え、解決していくために、市社協、市民、行政、社会福祉関係機関が、それぞれの役割を担い、協働して行動することで、すべての人たちが住みなれた地域で、ともに支え合いながら安心して暮らしつづけることができるまちづくりを目指します。



計画策定の手法と流れ

さまざまな分野で活動している市民の参加による活動座談会の開催や、地域の活動団体を対象とした事前活動調査の実施等により、意見や要望の把握に努めるとともに、市社協の活動の現状を振り返り、課題を整理しました。また、作業部会、座談会代表者会議、策定委員会での検討、承認を得て策定しました。



1. あつめる みんなが持っている情報を集めましょう

活動内容、活動場所、活動の対象者、活動に携わる人材等、地域福祉活動を活性化するために必要な情報を把握して、情報を求めている人に役立ててもらえるようなニーズに応じた情報提供ができるように、みんなが持っているさまざまな情報を集めましょう。

四日市市社会福祉協議会の取り組み

- 活動している人や支援を受けている人からニーズを集めます。
- 各地区の課題の整理や、福祉の動向や新しい取り組みの情報を収集します。

市民の取り組み

- 市社協や関係機関、地域団体との交流を深め、福祉に関する情報を交換しましょう。
- 活動に必要な情報や支援してほしい内容等、ほしい情報を積極的に伝えましょう。



2. みつける 今まで気がつかなかった情報を見つけましょう

「こんな支援がしてほしいけど、誰にも頼めない」、「こんな活動をやってみたいけど、どうしていいかわからない」など、心のなかでは思っていても表にあらわれない声や、一人ひとりのライフスタイルによって異なるニーズ、本当は必要だけれど気が付いていないニーズをつかむために、普段の生活のなかのあらゆる機会をとらえて地域の実態を把握し、今まで気が付かなかった、見過ごしていた情報を見つけましょう。

四日市市社会福祉協議会の取り組み

- 関係機関や地域団体等と連携し、それぞれが持っている情報を集約します。
- アンケートの実施や地域活動参加者からの声を聞き、表にはあらわれにくい潜在的なニーズを発見できるしくみをつくります。

市民の取り組み

- 近所付き合いや地域活動を通して感じる地域の問題点等を、市社協や関係機関等に伝えましょう。
- 活動団体の情報整理や、ニーズ把握のために市社協や行政等が実施するアンケート調査等に協力しましょう。

3. ひろめる 「集めて・見つけた」情報をみんなに広めましょう

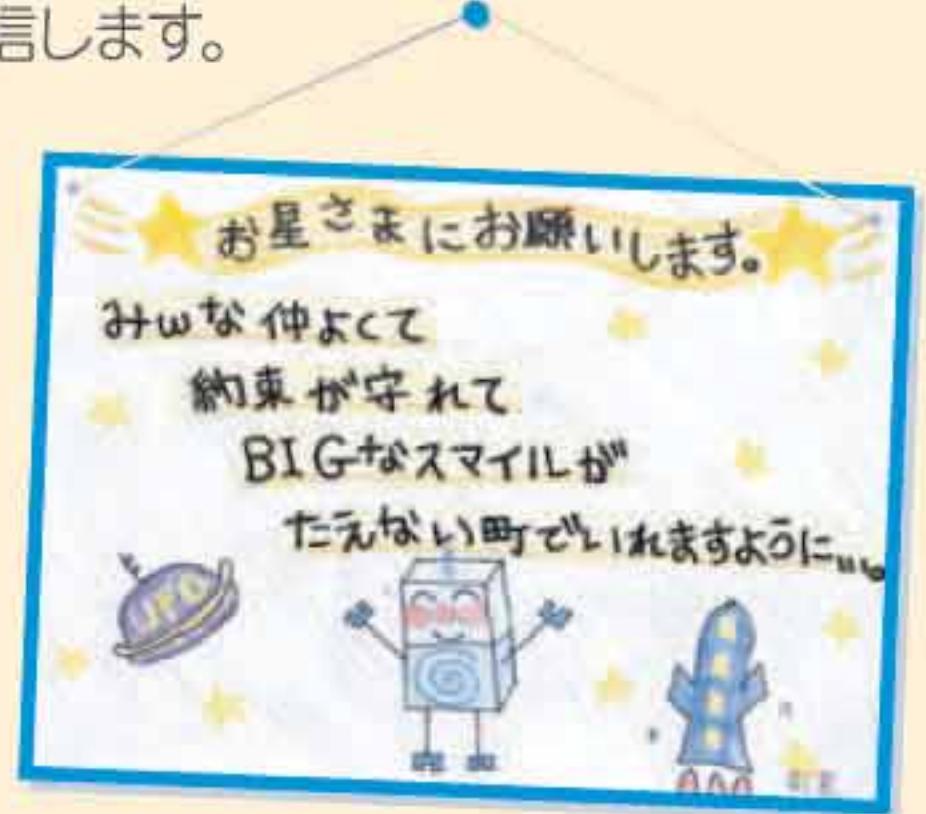
地域から「集めた」情報と、地域から「見つけた」なかなか表にあらわれない隠れたニーズを集約して、必要としている人に必要な情報が的確に伝わるように、さまざまな方法で幅広い情報を地域のみんなに広めましょう。

四日市市社会福祉協議会の取り組み

- 活動や日常生活に関して必要とされている情報を集約し、必要としている人に届くように発信します。
- 地域の福祉課題や問題点等を、関係機関や関係団体等に情報発信します。

市民の取り組み

- 市社協や地区社協の広報を利用したり、活動団体でホームページや機関紙等を作成したりして、みんなに情報を提供しましょう。
- 人から人への「口コミ」を身近な「情報の伝達手段」として活用しましょう。



4. つなげる 人と人、活動と活動をつなげましょう

地域福祉活動に活かせる知識や経験、技能を持った人材を新たに発掘し、ボランティア活動につなげていくことは、その人が充実した活動ができるだけではなく、活動の発展につながります。そして、支援を必要とする人への橋渡しができるよう、人と人、活動と活動をつなげましょう。

四日市市社会福祉協議会の取り組み

- 企業のノウハウ・人材の活用や、地域の関係団体との協働により、人と活動をつなげていくしくみをつくります。
- 活動している人に対してボランティアの登録を促進し、活動をさまざまなニーズにつなげていきます。
- 行政や関係機関と協力し、隠れたニーズをサポートできる体制をつくります。

市民の取り組み

- 活動している人や団体は、つながりや活動の幅を広げましょう。
- 市社協等が提供する情報や、地域のつながりを活用し、支援を求めている人に対する活動を行いましょう。
- 活動に関心を持っている人や、これまでに活動に参加していない人等、地域のさまざまな人が一緒に参加できるように活動の輪を広げましょう。

5. のばす 今ある福祉の芽を伸ばしましょう

すでに活動を行っている人はさらに専門的、広範的な活動ができるように、また、今は活動をしていなくても興味や関心のある人や、小・中学生、高校生・大学生等の次代を担う若い世代等が、これから活動に参加できるように、今ある福祉の芽を伸ばしましょう。

四日市市社会福祉協議会の取り組み

- 活動する人がスキルアップを図り、地域で核となって活躍できるように、学習機会の提供に努めます。
- 地域の見守り活動や災害時の対応等、地域で支え合うしくみづくりに向けて一緒に取り組みます。
- 学校との連携によるボランティア体験活動を行うなど、若い世代が活動に参加するためのきっかけをつくります。

市民の取り組み

- ボランティア養成講座に積極的に参加し、学んだことを地域で活かしましょう。
- 市民のみなさん自身で学習会を開催し、活動する機会を広げていきましょう。

6. つながる 特別な機会(場所)だけではなく、普段の生活のなかでつながりをつくりましょう

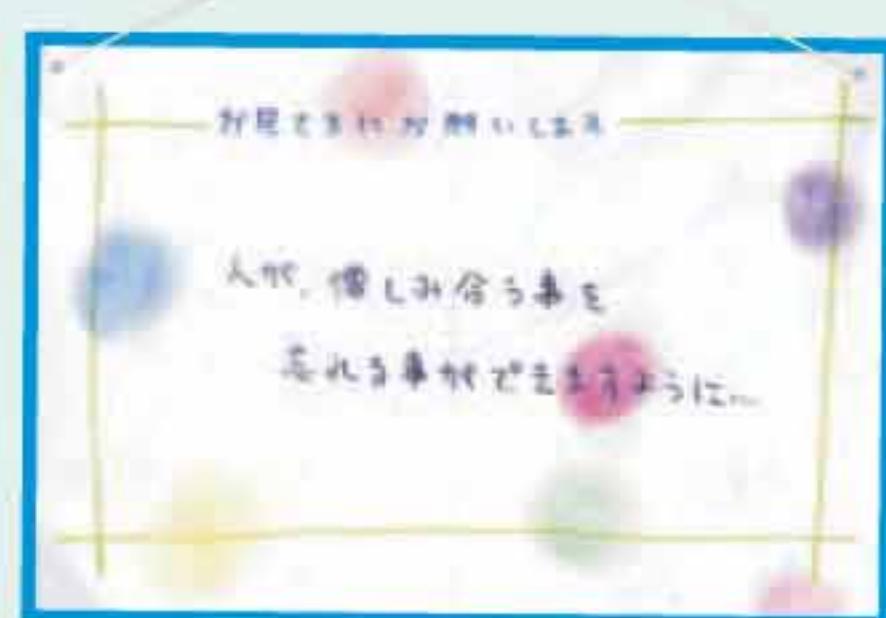
隣近所の人との軒先での会話や同じ地区に住む人との日常的な付き合い、同じ趣味を持つ人や同じ悩みを抱える人同士の交流等、特別な機会だけではなく、普段の生活のなかでつながりをつくりましょう。

四日市市社会福祉協議会の取り組み

- 地域の人が日常生活のなかで自然と友だちになり、つながりを持てるようなしくみをつくります。

市民の取り組み

- 普段から地域のみんなでつながりを持ち、地域での見守り体制づくりに協力しましょう。
- 交流を通してお互いがわかり合えるように、つながりを深めていきましょう。
- 地域活動に自ら参加するだけでなく、地域の人と一緒に参加し、多くの人と「わ」をつくりましょう。



7. あつまる 地域福祉活動に取り組むために、みんなで集まりましょう

地域で同じ目的を持って活動している団体や、対象者をしづって身近な場所で地道に活動している人等、地域活動を実践している人や団体がお互いに協力し、さらに充実した地域福祉活動に取り組むために、みんなで集まりましょう。

四日市市社会福祉協議会の取り組み

- 講師の紹介や企画への協力、活動に必要な情報提供等により、地域で活動している人や団体を支援していきます。
- 関係機関との連絡調整を行い、協働して開催できるしくみをつくります。



市民の取り組み

- 地域の状況に応じて活動の幅を広げていくために、活動団体や関係機関との連携や、交流の機会を持ちましょう。
- 活動を地域の支え合いに活かしてもらうため、地区社協や自治会、民生委員児童委員協議会や老人クラブ等、地域の支援者や活動団体と積極的に協働しましょう。

8. まとまる 地域福祉の大きなつながりとしてまとまりましょう

一つの団体や個人ではできないことでも、身近な地域での人ととのつながり、活動団体同士のつながり、市社協や関係機関とのつながり等、活動に関わるさまざまな人や団体の活動がまとまることで、解決できることもたくさんあります。市全体・地域のネットワーク、問題に応じたネットワークをつくり、みんなでまとめて取り組みましょう。

四日市市社会福祉協議会の取り組み

- 関係機関、活動団体、専門機関等との協働による相談体制をつくります。
- 市民や関係機関等との話し合いの機会をつくり、活動団体同士の交流を進めることにより、地域におけるネットワークをつくります。
- 地域団体との関わりを深め、地域活動の促進に向けて働きかけます。

市民の取り組み

- 地域福祉活動の推進に関わるさまざまな人や団体との交流を深め、地域でネットワークを構成する一員として積極的に活動に関わりましょう。

四日市市社会福祉協議会の役割

地域福祉の推進役として、「情報」「人材」「ネットワーク」をまとめるコーディネート役を担い、活動への助成や支援を行うことにより、市民が主体となった地域福祉活動の活性化を図ります。また、支援や活動に対する相談や福祉意識の啓発にも取り組み、四日市市全体における地域福祉を支えていきます。

役割

1

活動支援(コーディネート)

地域で活動している人や団体がより活動しやすいように、活動をコーディネートするための幅広い支援体制をつくります。また、活動に必要な知識や情報、活動場所等を提供するとともに、活動の方向性や方法について地域で活動している人と一緒に考え、さらなる活動の充実に向けた支援を行います。

役割

2

相談(不安をなくす)

相談する人の不安を解消するため、さまざまな内容の相談にも柔軟に対応できるような体制づくりに努めます。また、身近な相談窓口や総合的な相談窓口を設置するとともに、相談を通して把握した地域の課題の解決を図り、誰もが地域で住みやすい環境づくりを目指します。

役割

3

福祉啓発(ふかめる)

地域における福祉に対する意識を深め、地域活動を促進するため、活動に役立つ情報の提供やふれあいきいきサロン活動等について広く啓発します。また、障害者との交流や学校での福祉教育の充実等、障害に対する理解を啓発し、障害者が社会参加できる環境づくりに努めます。

